

## β-ラクタマーゼ命名法に関する合意事項の概要

新規β-ラクタマーゼの命名法は、Bradford PAらにより *Antimicrob Agents & Chemother* に掲載されました ([doi: 10.1128/aac.00333-22](https://doi.org/10.1128/aac.00333-22)). この分野の論文執筆の際は、この過程に従うことが推奨されます。以下にコンセンサスの概要を示しますが、投稿前に原文をご一読ください。

- 新規β-ラクタマーゼのアレル番号は、これまでに報告されている配列と少なくとも1残基のアミノ酸置換変異が予測されるアミノ酸配列に基づいて、自然界に由来する酵素に対して割り当てられる予定です。
- 多くのβ-ラクタマーゼファミリーのアレル番号はNCBIによって指定、監視されており、遺伝子ファミリーの新規アレル番号は必要に応じてNCBIによって割り当てられます。
- 1アミノ酸残基の変化が機能的または疫学的に重要であると考えられる場合、タンパク質の配列番号のみを記載するよりもアレル番号を記載した方がより明確になる場合など、有益な場合にのみアレルの割り当てをNCBIに対して請求すべきです。
- 新規β-ラクタマーゼの機能的活性は、各クラスに特異的なβ-ラクタム薬による同系統株の感受性検査や精製酵素を用いて明らかにすべきです。
- 染色体性クラスCβ-ラクタマーゼ (*ampC*) ファミリーで、これまで広範なアレルの割り当てを受けていないものについては、アレル番号を割り当てない場合があります。
- OXA型β-ラクタマーゼについては、現在命名法の明確化を進めています。
- β-ラクタマーゼ遺伝子の引用は、*bla*<sub>TEM-1</sub>の表記法(斜体の*bla*の後に下付のβ-ラクタマーゼアレル名称)に従って記述するのが適切です。